

神戸発の「心の健康を見守るシステム」

神戸市と同研究所の産学官連携により、神戸市ではウェアラブル機器*を用いて、乳幼児健診や就学児童の睡眠指導など、病気にさせない社会を実現し、精神疾患や生活習慣病に伴う経済損失を防ぐ試みをおこなっている。

事業背景

神戸市では、ポートアイランドにおいて先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、21世紀の成長産業である医療関連産業の集積を図る「神戸医療産業都市」を推進している。ポートアイランドにはスーパーコンピュータ「京」を運営する理化学研究所計算科学研究機構もあり、バイオメディカルのイノベーションと情報科学のイノベーションを統合し、新しいヘルスケアを開発するのに最適な環境であるため、兵庫県神戸市に研究開発拠点を置いている。

技術者の採用背景

- 文部科学省から公募されたセンター・オブ・イノベーション・プログラムに神戸拠点として応募するという形で研究者を集めている。
- 地元比率は75%程度。
- 先端医療振興財団、理化学研究所計算科学研究機構、兵庫県立リハビリテーション中央病院などから研究者が参加している。

地域振興活動

■発達障害の早期発見と予防

この研究開発プログラムには神戸市が参加している。研究課題の一つとしてウェアラブル機器*を用いた発達障害の早期発見と予防を目指しており、神戸市での乳幼児健診や就学児童の睡眠指導などをとおして実装を進めている。

■「心の健康を見守るシステム」

ウェアラブル機器*とライフログアプリを使って、神戸発の「心の健康を見守るシステム」によって病気にさせない社会を実現し、精神疾患や生活習慣病に伴う経済損失を防ぐ。



ウェアラブル機器*による発達障害の早期発見・予防で、健やかな成長・健康的な生活を
※今回の実験では、商品化されているSmart Bandとライフログアプリを組み合わせて使用。